

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

・安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

・定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほりかたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

・故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

・万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



① 電源を切る

② ACパワーアダプターをコンセントから抜く

③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。





火災

感電

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号





火災

感電

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

行為を禁止する記号







禁止

分解禁止

接触禁止

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターと一緒に持ちください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。

・乾電池は充電しない。

・指定された種類の電池を使用する。

・⊕と⊖の向きを正しく入れる。

・電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

⚠注意

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

SONY

3-810-651-02 (1)

コードレスステレオヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読み、のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-IF120K

Sony Corporation © 1995 Printed in Korea

主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンシステムです。トランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわずらわされることなく、手軽にお使いいただけます。

- ・ 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホンシステム
- ・ 最大7mまでの広い赤外線到達範囲
- ・ ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- ・ ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できるVOLツまみ

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

主な仕様

一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz 左チャンネル 2.3MHz
周波数特性	18～22,000Hz
トランスミッター	TMR-IF120
電源	DC 9V（付属のACパワーアダプターを使用）
音声入力端子	ピンジャック/ステレオミニジャック
最大外形寸法	約152×40×72mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約80g
ヘッドホン	MDR-IF120
電源	DC 1.5V（単3形乾電池×1）
質量	約125g（乾電池含む）

付属品

ACパワーアダプター（1）、接続コード（約1m、ステレオミニプラグ×1 ピンプラグ×2）1、単3形乾電池（1）、取扱説明書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）

別売りアクセサリ

- ・ 付属の接続コードをステレオ標準ジャックに接続したいとき
プラグアダプター PC-234S（ステレオミニジャックステレオ標準プラグ）
- ・ 付属の接続コードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき
プラグアダプター PC-236MS（ステレオミニジャックモノラルミニプラグ）
- ・ 付属の接続コードの長さが、使用状況に合わないとき
接続コード RK-C505KS（0.5m、ピンプラグ×2ピンプラグ×2）
RK-C515KS（1m、ピンプラグ×2ピンプラグ×2）
RK-C520KS（2m、ピンプラグ×2ピンプラグ×2）
- ・ 付属の接続コードをなくしてしまったとき
接続コード RK-G129KS（1.5m、ステレオミニプラグ×1ピンプラグ×2）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

MDR-IF120K.3-810-651-02(1).J. Page 1

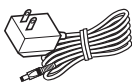
準備

確認しましょう

はじめに内容物の確認をしてください。
・トランスミッター TMR-IF120



・ACパワーアダプター



・接続コード
(ピンプラグ ステレオミニプラグ)



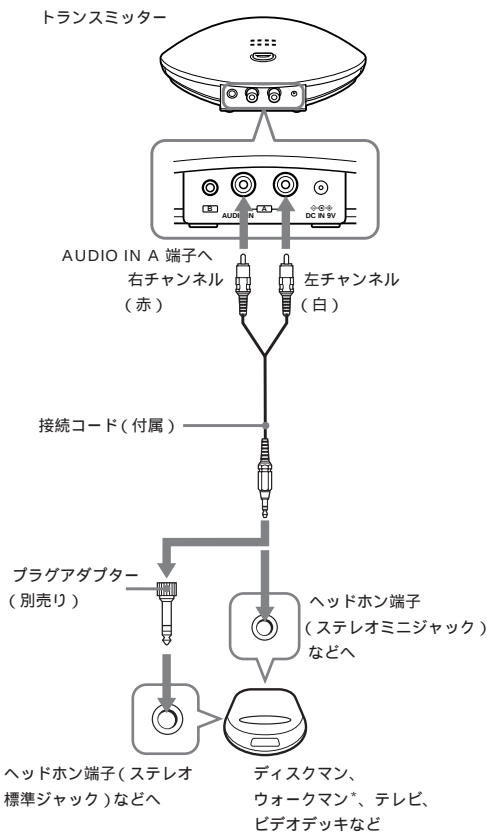
・ヘッドホン MDR-IF120



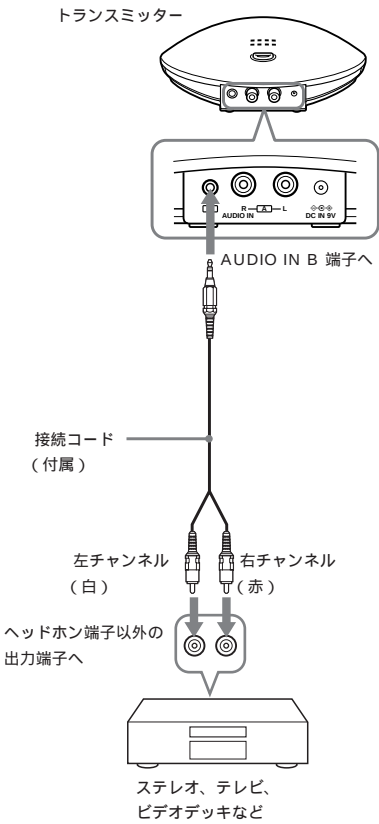
トランスミッターを設置する

1 トランスミッターをAV機器につなぐ。
AV機器の出力端子の種類に合わせて④または⑤を選んでください。

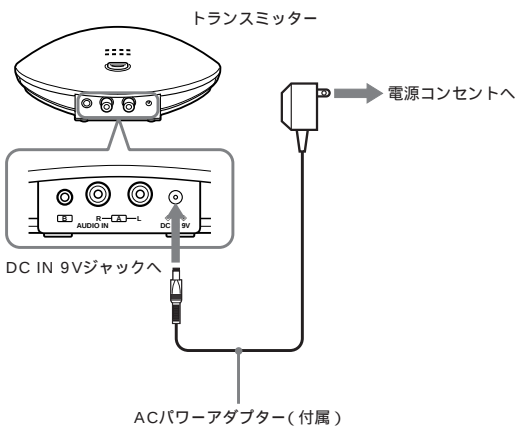
④ ヘッドホン端子につなぐ場合



⑤ ヘッドホン端子以外の出力端子につなぐ場合



2 トランスミッターを電源につなぐ。



ご注意

- ・AUDIO IN端子は、AまたはBどちらか片方の端子だけをお使いください。両方の端子に2台のAV機器を同時につなぐと、両方の信号がミックスされて再生されます。
- ・この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

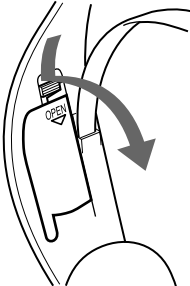


- ・接続コードをイヤホン端子(モノラルミニジャック)に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャック モノラルミニプラグ)を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

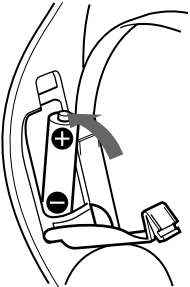
* ウォークマンはソニー(株)の登録商標です。

ヘッドホンに乾電池を入れる

1 左側のヘッドバンド内側にある電池ぶたを開ける。



2 付属の単3形乾電池を入れる。



3 電池ぶたを閉じる。

乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間
ソニールカリ乾電池 LR6/AM3(N)	約100時間
ソニー乾電池 R6P/SUM-3(NS)	約50時間

乾電池の交換時期

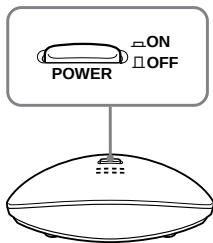
乾電池が消耗してくると、ヘッドホンの右側にある電源ランプが暗くなってきました。また、音がひずんだり、雑音が多くなります。その場合、乾電池を新しいものと交換してください。

使いかた

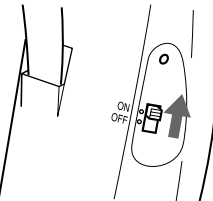
音声を聞く

1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。

2 トランスミッターの電源を入れる。
赤外線発光部が点灯します。



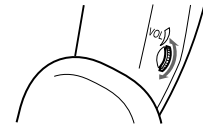
3 ヘッドホンの電源をいれる。
電源ランプが赤色に点灯します。



4 ヘッドホンをかける。



5 音量を調節する。



ヘッドホンから音が聞こえないときは

μ ミュート機能

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増え、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

お使いになったあとは

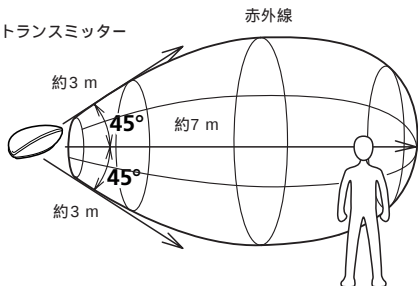
ヘッドホンをはずしてから、ヘッドホンとトランスミッターの電源を切ります。
(ヘッドホンをはずす前にヘッドホンやトランスミッターの電源を切ると、雑音が入ることがあります。)

ご注意

トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線が届く範囲などの性能には影響ありません。

赤外線が届く範囲について

トランスミッターからの赤外線が届く範囲はおおよそ下図のとおりです。



ご注意

- ・このシステムは赤外線を使用しているため、ヘッドホンをお使いになる場所がトランスミッターから離れるにしたがって雑音(ヒスノイズ)が増えたり、また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。
- ・赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- ・トランスミッターはヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であればお使いになれます。

その他

使用上のご注意

取り扱いについて

トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

- ・直射日光が当たる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所(なるべく5 ~ 35 の範囲でご使用ください。)
- ・風呂場など、湿気の多い所

故障とお考えになる前に

音が出ない。

- ➡ トランスミッターとヘッドホンの電源を入れてから、ヘッドホンをかける。
- ➡ トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- ➡ トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- ➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ➡ ミュート機能が働いている。
 - ・トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
 - ・なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
 - ・トランスミッターの位置や角度を変える。
- ➡ ヘッドホンの乾電池を交換する。

音がひずむ。

- ➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ➡ ヘッドホンの乾電池を交換する。

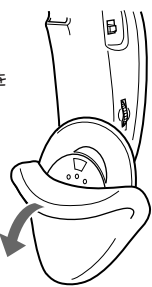
雑音が多い。

- ➡ トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。)
- ➡ トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- ➡ 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- ➡ 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
- ➡ トランスミッターの位置や角度を変える。
- ➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ➡ ヘッドホンの乾電池を交換する。
- ➡ すでに別のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。
 - ・他のトランスミッターの電源を切るか、赤外線が届かない所へ移動する。

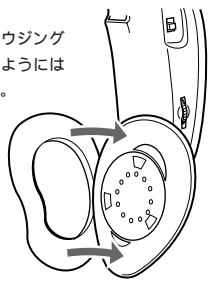
イヤーパッドを交換するには

イヤーパッドは消耗品です。汚れたり破損した場合は、お買い上げ店または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせください。下図を参照してイヤーパッドを交換してください。

古くなったイヤ・パッドをはずします。



イヤ・パッドをハウジングの外周に合わせるようにはめ込んでいきます。



最後までしっかりと
はめ込みます。

